

現在も使われている明治時代の区役所庁舎

～麻布区役所庁舎と日本獣医生命科学大学1号館



「麻布区役所庁舎」東京市麻布区役所『東京市麻布区勢一斑』昭和8年(1933)

明治時代に建てられた麻布区役所庁舎が、現在、日本獣医生命科学大学(東京都武蔵野市境南町1-7-1)の1号館として転用され、同館の一部は、「ワイルドライフ・ミュージアム」としても活用されています。この建物は、明治42年(1909)、麻布市兵衛町(現:港区六本木三丁目)に麻布区役所庁舎として建てられたものです。

麻布区役所庁舎は、大正12年(1923)の関東大震災では倒壊・火災などの被害を免れました。しかし、震災により被災した12区の区役所庁舎にならう形で、昭和10年(1935)、場所を鳥居坂町(現:六本木五丁目)へ移し、新たな庁舎が建設されることになったため、明治時代に建てられた庁舎は区役所としての役目を終えることになりました。

その後、昭和11年(1936)、日本獣医生命科学大学の前進である日本獣医学校が、目黒にあった校舎を武蔵境へ移転することに伴い、麻布区役所庁舎を同校の校舎として利用するため移築しました。